

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみるための問題です。

【出典】

「芸術学事始め——宇宙を招くもの」小林道憲

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 熟語の構成に関する問題です。
- 3 文章全体の前半部を読み取ることができているかを確認する問題です。
- 4 キーワードの理解を確認する問題です。
- 5 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 6 文章全体から根拠を明確にして筆者の意見を捉えているかを確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

非連続型テキストに表された異なる意見を比較し評価した上で、それに対する自分の考えを非連続型テキスト上の事実や自分自身の知見を根拠に書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

グラフから読み取ったことに対して自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

連続テキストや非連続テキストについて内容を読み取り、そこに表されている事実や自分自身の知見を根拠として自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解と正答率表

() 内は部分正答率

問題		正 解	正答率 %
大	小		
一	1	(1) 群 (れ)	89.8
		(2) 損 (ねない)	66.3
		(3) 寒暖	74.5
		(4) 提唱	42.8
	2	ア	61.6
二	1	F	74.5
	2	D	75.1
	3	(1) 空さわぐ	69.7
		(2) ア	45.0
三	1	いわく	94.8
	2	イ	78.7
	3	(1) 石	88.6
		(2) 誠実で純粋な気持ちで行うと、常識的には不可能なことでも達成できるということ。	14.9 (29.1)
四	1	A ちょうせん	99.6
		B ふ (き)	94.8
	2	ウ	79.1
	3	時間を短くも長くも感じるほど作品の世界に引き込まれる体験。	11.4 (41.8)
	4	エ	86.7
	5	(1) 自分で読むのはめんどうだから助かっちゃう	80.9
(2) イ		38.8	

問題		正 解	正答率 %
大	小		
四	6	読書の考え方が自分に近い秀臣と口論までした読み聞かせが、実は忘れていた思い出と気づき落ち込んだが、笑いを誘うルナの励ましで気が静まった。	2.8 (22.9)
五	1	A しょみん	97.8
		B てざわ (り)	95.6
	2	エ	75.3
	3	(1) ア	66.9
		(2) 物の形を目でなぞっている	89.4 (0.2)
	4	エ	35.5
5	オ	57.0	
六	6	制作者が身体全体で対象に働きかけ、同時に対象から働きかけられる直接経験で得られる、単に主観的ではない共通感覚としての感動を表現できるから。	1.8 (22.1)
		与えられた条件のもとで、述べられていること。	16.1 (70.5)